

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームメープル 1F	評価実施年月日	平成21年3月6日
評価実施構成員氏名	福本 照是 脇谷 公子 堀口 洋美 藤永 拓也 五十嵐 昭子 仲山 直子 渡辺 愛巳 大崎 文子 石井 昌代 白山 弘子 星 しづか 三手木 トメ子 丹羽 幸一 板垣 華代子 只石 京子 信田 美和		
記録者氏名	藤永 拓也	記録年月日	平成21年3月6日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>・心と心の触れあい・ゆったりとした生活環境という理念に基づき、地域、家族の方達には自由に来訪して頂けるよう又、居間のスペースを広くし、ゆったりと過ごせるよう工夫している。居室は整理整頓を十分に行っている</p>	○	<p>来訪された方達がゆっくり過ごせるよう配慮し、利用者の方々と触れ合うよう心がけている</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>・職員のミーティングを行い連絡を密に利用者の方達の身体状況を把握し対応している。 ・職員は体調管理に注意しゆとりある気持ちで勤める事を各自、自覚している。</p>	○	<p>・勤務交替日、十分に申し送りを行ったり、管理日誌やボードを利用し職員全員が周知している。 ・利用者の方達と茶話会・リハレク等を通し、触れ合い毎日の心身の状況を把握し必要に応じた支援に務めている。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>・訪問者に見える様、理念を掲示している。 ・外の看板にも掲示している。 ・月一回、家族さんへメール便りを送付している。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>・施設はしておらず自由に訪問してもらえるようにしている。 ・野外散歩時にも気軽に声を掛けあっている。</p>	○	<p>・野球チーム(ファイターズ)の子供達と数ヶ月に一回は触れ合いを行なっている</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>・小学校の発表会、運動会、お祭り、野球の応援などに行っている。</p>	○	<p>・近隣のケアハウスへの訪問 ・乗馬クラブの見学 ・近所の喫茶店、セーコマートへの外出 ・近所の方が漬物や野菜などを届けて頂き一緒にお茶を楽しまれる。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>・地域のケアマネ包括センターとの連絡をとっている。 ・居宅支援事業所、石狩市介護保険課と連携をとっている。 ・地域の人達の介護相談を受けている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>・月会議、朝夕の申し送りで話し合っている</p>	○	<p>・外部評価の意義を十分に理解できず、どのように活かしているのか伺いたい</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>・二ヶ月に一回の会議を定期的に行い、報告や意見交換に務めている</p>	○	<p>・会議の内容は月会議でも話し合っている。</p> <p>・推進会議の取り組み方についてどのように取り組めばいいか教えてほしい</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>・必要性に応じて市(介護保険課)と連携をとっている</p>	○	<p>・今後も連携をとっていきたい</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>・研修には参加しているが現在のところ制度を活用している利用者はいない</p>	○	<p>・必要に応じて活用したいと思う</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>・研修や参考資料において学ぶ機会も持っている。</p> <p>・当ホームでは虐待はない。</p>	○	<p>・利用者から暴言・暴力があった場合、会議や申し送りで、話し合いをもち未然に防げるよう努めている。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>・長期入院等では十分な期間をもち、対応している。</p>	○	<p>・退所後も家族との交流は持っている。(時々訪ねてきている)</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・利用者の表情や行動を読みとり、心身の状況を把握しその都度、本人と職員全員とで話し合い解決策をたてている。	○	・個人個人の問題は、上司の指導を受けた上で話し合いをもち、解決に努めている。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	・報告の必要時、手紙、電話又は来訪時等で周知して頂いている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・来訪時、話し合う機会は設けている。 ・家族から不満や苦情は聞かれていない。(家族からの要望や相談等は必要に応じた対応をしている)		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・毎日の申し送りや月会議で行なっている。	○	・家族等の要望、相談についてはその都度職員全員が周知徹底して、家族・利用者が不安なく過ごせるよう努めている
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	・管理者や看護師がフリーで常勤しておりその都度対応している。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	・1. 2Fの職員は常に交流し利用者とも顔なじみの関係を作っている。	○	・利用者との顔なじみの関係を作り利用者へのダメージを防いでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・外部 内部での研修を行い、その都度必要に応じて行なっている。</p> <p>・毎日の申し送りが必要時に勉強している。</p>	<p>○</p> <p>・今後、受け入れて頂けるグループホームにて実務研修や見学を今後も続けて行きたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>・地域の研修会などに参加し、行なっている。</p>	<p>○</p> <p>・他グループホームの見学等を通し、課題について意見交換する。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>・休憩時には利用者と関わらない時間と場所を提供している。</p> <p>・有給は本人の希望によりとりやすくなっている。</p>	<p>○</p> <p>・休憩時間は、確実に休める体制になっている。</p> <p>・毎月のシフト表は、事前に休み希望を要望し、管理者が調整している。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>・勤務状況及び、職務上の取り組み姿勢で把握している。</p>	<p>○</p> <p>・その日の勤務者の状況を把握している。</p> <p>・個人が管理者に相談しやすい環境になっている。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>・利用者、家族の相談 本人の状況を把握しながら、受け止める姿勢で取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>・本人の状況を把握し、本人からの話を傾聴する様取り組んでいる。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>・来訪時等利用して家族に話す機会を作っている。 (必要に応じて本人の状況を電話にて連絡している)</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・相談を受けた際は、本人・家族を交えて、相談に応じている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・家族からの情報をふまえて、ゆっくり時間をかけて触れ合いながら、本人の状況をよく把握し、職員間で情報交換し対応している。	○	・ゆったりと心と心のふれあいをするよう努めている。 ・早く環境に馴染めるよう努力している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・日常生活において茶話会、レクレーションを通して一緒に過ごす時間を作っている。 ・調理も出来る事はお手伝いして頂いている。	○	・百人一首等、読み方を教えて頂いている。 ・昔の生活で学ぶ事がある。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・支え合う関係を築いている。	○	・家族会、訪問時に本人を含み茶話会で交流を持って、生活状況など近況報告して、お手伝い出来る事は願っている。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・本人と家族との関係の理解に努め、良い関係が築ける様努力している。	○	・家族訪問時、一緒に過ごせる様配慮している。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・知人の来訪を受け入れたり、外出時等送迎を行なっている。	○	・友人が来訪された際、食事を一緒にしたり居室でゆっくり過ごせるよう配慮している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・一人ひとりの性格を把握し、利用者同士孤立しないよう配慮している。	○	・1F・2Fの利用者との交流を職員を交え行なっている。 (居室への訪問時、レクレーションの交流)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・入院時等は利用者と共に、お見舞いなど行なっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の状況に応じ対応している。	○	・閉じこもりがちな方に対し、居室等に訪問し話し合いやレクレーションへの参加を呼びかけている
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・家族 本人の話などこれまでの暮らしの把握をしている。 ・必要に応じた支援をしている。	○	・情報不足の場合は、混乱なく生活出来るよう支援している。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・毎日の過ごし方を十分に観察し把握している。	○	・毎日のミーティングで、お互いに知りえた情報を交換している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・本人がより良く暮らす為に介護計画に沿って支援している。 なお、必要に応じて介護計画を変更、見直している。	○	・ミーティング及び、カンファレンス時に意見交換し適切な介護計画として取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・実施している。	○	・短期目標(6ヶ月)毎に見直しを行なっている。 ・必要に応じて介護計画の見直しをしている。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・活かしている。	○	・個々の介護日誌に記録し、情報を共有し実践に役立てている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・医療連携、通院送迎の支援、外出外泊の支援を行なっている。	○	・継続していきたい。 ・ショートステイ及びデイサービス等当グループホームでは行っていない。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・行なっている。	○	・ボランティアを有効活用し、誕生会 クリスマス会等において(唄、尺八、フラダンス、日本舞踊等)利用し共に楽しみながら支援している。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・グループホームなので、他サービスの利用は活用していない。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・地域包括支援センターとの連携を行なっている。	○	・今後とも行なっていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	・定期的な在総診、近隣の医療機関との連携を保ちながら支援している。	○	・月二回の定期診療を行っている。 ・状態変化時は直ちに、医師へ申し必要に応じた治療等を受けている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	・現在は主治医、精神科医と連携を行ない支援している。	○	・主治医を通して、今後取り組んでいきたいと思う。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	・常勤の看護師が常駐している。	○	・在総診の看護師との連携は密にしていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	・早期に退院できるように情報交換を行なっている。	○	・骨折等では、リハビリメニューを主治医から受け当グループホームでリハビリを行なっている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	・グループホームにおける終末ケアにおいては、スタッフ 家族は周知している。 ・同意書も頂いている。 ・医師の協力も得ている。	○	・終末期には、家族の方も宿泊できるように、部屋等を備えている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	・グループホーム内で、出来る限りのケアを行なっていきたい。	○	・今後、検討していきたいと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	・本人の生活状況及び身体状況を把握し、本人の不安がないように支援している。	○	・入居してきた場合については、本人をよく観察しコミュニケーションをとり安心して暮らせるよう支援している。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	・プライバシーの確保を行なっているが、個人情報には必要に応じて記録、話し合いを行なっている。 ・守秘義務は守っている。	○	・守秘義務の徹底 ・必要に応じた書類に関しては事務所にて保管 又は金庫に保管している。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	・支援している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・日課の中で、利用者本位までとはいかないが、出来る限り希望にそって努力している。	○	・外出の支援 買い物 散歩 外袋 レクリエーション等 (トランプ 百人一首 カルタ マージャン カラオケ)など毎日取り組んでいる
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	・行なっている。 ・常に居間や玄関に鏡を設置し、環境作りに取り組んでいる。 ・美容室は外部から来て頂き、床屋は近隣を利用している。	○	・誕生会や外出支援(お化粧品 洋服)等を選んでいる。 ・季節的に衣類交換を支援している。 ・衣類交換時、配色等に配慮している。 ・毎日の身だしなみの支援(整髪 爪切り 耳掃除)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	・出来るだけ利用者さんの好みに合わせた献立作りをしている。 ・時には外食 誕生会では、個人の好みに合わせた調理を行なっている。	○	・出前 そば打ち 出張寿司 出前弁当等も定期的に利用している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	・タバコは喫煙所を設置している。(時間制限はない)	○	・時間ごとお茶飲みの時間はあるが、本人の希望に応じて飲んで頂いている(コーヒー 紅茶 お茶等)
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	・声掛け及び見守りにより、失禁無く経過出来る様取り組んでいる。	○	・排泄チェック表による管理
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	・利用者の希望通りまでの入浴は困難だが、出来るだけ希望にそよう支援している。	○	・入浴時間(ゆっくり入りたい等)は本人の希望にそえるよう順番などを常に工夫している。 ・お湯の温度調整している。 ・室温 湿度を配慮している。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	・支援している。 ・日中は本人の状態を見ながら休息をとる様支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・各自の出来る所を積極的にお手伝いして頂いている。(掃除 洗濯たたみ 配膳 雑巾縫い 編み物 調理の下ごしらえ等)	○	・張り合いする暮らしが出来る様取り組んでいる。 (新聞たたみ お茶パック詰め)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・本人の希望でお小遣い程度のお金は常に所持されている。	○	・買い物に出かけ、本人の好きな物を買うよう支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・本人の希望にそよう、散歩 買い物等の支援を行なっている。	○	・天候などの左右されることもあり希望を取り入れる事が困難な時もある。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・行なっている。(お寺 花見 知人宅 外食 ドライブ 近隣の小学校への訪問など)		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・いつでも自由に電話が出来る環境になっている。	○	・職員がお手伝いし、手紙 ハガキ 礼状 年賀状等を出している。 ・母の日のお礼のお便り等
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・自由に訪問できるよう配慮している。	○	・時間に制限無く、自由に訪問して頂き時間が合えば食事等も一緒にして頂いている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・取り組んでいる。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・夜間のみ施錠している。(日中は開錠している)	○	・ドアノブに鈴などを付けて工夫している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	・配慮している。 ・昼夜通し見守りし、安全に過ごせる様配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	・利用者さんの状況に応じて取り組んでいる。 ・アイロン 刃物等を安全に使用している。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	・マニュアル等でミーティングし、取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	・日々、利用者さんの様子を観察し、スタッフ間で情報交換を行なっている。	○	・マニュアルを作成し、常に勉強会を行っている。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	・避難訓練は非常階段を使い、日々、練習を行なっている。 ・地域の人の協力を得られるよう地域運営推進会議等で働きかけている。	○	・消防にも協力を得て利用者も含め訓練している。 (年一回～二回)消火器使用の周知を行なっている。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	・話し合っている。 ・家族来訪時に、現在の状況等報告し、安全に暮らしている事を理解していただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のバイタルチェックと健康状態の把握をしている。 ・状態変化時はドクターに連絡し、適切な指示を受けている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食事 水分量の把握 ・定期的な体重測定(必要な人は毎回の入浴時に測定している。) ・排泄状態の把握(尿と便の回数)
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルに処方箋をファイルしている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・処方内容の変更時は、看護師の説明を受け周知している。 ・職員が薬に関して不安感を抱いた時は、処方内容を確認し副作用の疑い時は直ちに医師との連携をはかっている。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表により排泄状態を確認。 ・排便調整として、ドクターにより指示を受けている下剤を正しく与薬している。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の工夫(繊維性のもの) ・ベット上 トイレ介助時に腹部マッサージを行なう。 ・毎日、定時にトイレに座って頂くようにしている。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、口腔ケアを行なっている。 ・舌苔除去を行なっている。 ・歯槽膿漏の方については、歯科受診を行なっている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアの自立者については、見守り 声掛けを十分に行なっている。 ・介護者については、歯ブラシ ガーゼにて口腔清拭を行なっている。 ・舌表面のケアを十分に行なっている。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考えた献立表を作成している。 ・高齢者に合った食材の使用、調理の工夫を行なっている。 ・味付け 食器 食の盛り付けの工夫(美味しく見える様、食べづらい食材については小さく食べやすく切っている。) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、利用者の方達が好き嫌いなく食べて頂いているので、今後も続けて行きたい。 ・季節感のある食事を提供している。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル作成をし、職員は周知している。 ・インフルエンザのワクチンは、職員 利用者ともに毎年受けている。 ・毎食事前の手洗いを行なっている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・流行時は、職員が勉強会を開き周知して、感染防止に取り組んでいる。(食材の取り扱い 食器 冷蔵庫の消毒 各個室 トイレ等)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	・努めています。尚、まな板 布巾はハイターで消毒している。 ・食器については、食洗器で熱湯消毒をしている。	○	・食材については、期限切れ等のチェックを行い保存方法にも注意を行なっている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	・日中については、施錠せず出入りが自由に出来るようにしている。 ・玄関の整理整頓を行なっている。 ・玄関フロアは、明るく保つよう工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・利用者にとって、不快感の無いように配慮している。	○	・整理整頓に心がけている。 ・照明・遮光に配慮している。 ・廊下等に絵画を飾ったりしている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・工夫している。	○	・増築により共用空間を広げ、ゆったりとした生活をしている。 ・自由に座れるソファ等を設置している。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・使い慣れたもの 好みの物を置き、居心地良く過ごせるよう支援している。	○	・常に整理整頓の支援をしている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	・行なっている。24時間の空調設備がされている。	○	・湿度調整 外気温との差が無い様に配慮して、状況に応じてこまめに行なっている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・バリアフリーで手すりなどの設置		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	・工夫している。	○	・混乱や失敗の無い様支援している。 ・迷ったとき(自分の部屋が分からない等)には、目印(ハンカチ、ぬいぐるみ等)を付けている。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	・活かしている。	○	・畑や花畑を作っている。 ・春は種まき 夏は草取り 秋は作物の収穫 冬はかまくらや雪明り、雪だるま作り

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>○①大いに増えている ○②少しずつ増えている ○③あまり増えていない ○④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>○①ほぼ全ての職員が ○②職員の2/3くらいが ○③職員の1/3くらいが ○④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての利用者が ○②利用者の2/3くらいが ○③利用者の1/3くらいが ○④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての家族等が ○②家族等の2/3くらいが ○③家族等の1/3くらいが ○④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）

潜在機能を生かした生活に取り組んでいる。

栄養面で新鮮な食材を取り入れた食事作りを行っている。

ゆったりとした環境の中で、心と心のふれあいを心がけた生活支援をしている。